

保健文化賞

主催：第一生命保険株式会社

後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団

保健衛生向上のために・・・ 「保健文化賞」の創設

第一生命は、生命保険業を通じた社会への貢献とともに国民の皆さまの健康・保健衛生の向上に努めています。当賞は、保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設。おかげさまで今年77回目を迎えます。厚生労働省などの後援を得て毎年実施し、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を表彰しています。

受賞者の方々は
例年天皇陛下の拝謁をお受けいただいております、
権威ある賞として高く評価されています。



近年では・・・

「高齢者支援」「障がい者福祉」
「メンタルヘルスケア」などに
取り組む、NPO法人なども
多く受賞されています。

過去の受賞者様ご紹介

受賞年 (受賞回)	受賞者名 (敬称略)	功績
2023年 (第75回)	<団体の部> 一般社団法人 KISA2隊	地域のプライマリケアの枠組みを用いて、新型コロナウイルス感染症で自宅療養中の患者への訪問診療を全国に先駆けて行い、その取組をモデルケースとして全国各地へ普及させることで、多職種連携及び在宅医療の推進に貢献している。
2023年 (第75回)	<個人の部> 花田 敬士	膵癌の危険因子に着目し、病診連携を生かして内視鏡を含む低侵襲の検査介入を行う膵癌早期診断プロジェクトを展開し、地域における膵癌の早期診断例の増加や5年生存率の改善等に貢献している。
2024年 (第76回)	<団体の部> 認定特定非営利活動法人 マイママ・セラピー	相談場所の設置や講座の開催等により、自信を持って育児できる母親を育成するとともに、出産時に妊婦が利用できる「ゆりかごタクシー」の仕組みを他機関と協働して構築し、妊婦が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。
2024年 (第76回)	<個人の部> 大田 仁史	シルバーリハビリ体操の考案と長きにわたる体操指導士の養成により、茨城県内外に同体操を普及させるとともに、高齢者が自主的・継続的に介護予防に取り組める体制を構築し、介護予防の推進に貢献している。

保健衛生の分野で活動されている方に贈る 第77回「保健文化賞」 募集要綱

第77回保健文化賞は、2025年2月3日(月)から4月15日(火)まで募集しています。
ご応募・ご推薦をお待ちしています！

対象

- 健康増進・疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者支援の保健福祉分野、少子化対策等、地域に密着した地道で身近な活動や実際的な活動をされている団体・個人
- <団体> 原則として10年以上（※）団体としての活動実績がある団体
- <個人> 原則として年齢50歳以上で、原則として10年以上（※）の活動実績がある方
（※）団体・個人とも、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。

応募にあたっては必ず推薦者が必要となります。その他、表彰歴等によりご応募いただけない場合があります。
詳しくは募集要綱をご覧ください。

応募方法

- 規定の応募調書にご記入のうえ、下記に現物は郵送、ワードデータはEメールで送信ください。
（応募用紙は第一生命オフィシャルホームページよりダウンロードできます。）

郵送先：〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1

第一生命保険株式会社 コーポレートコミュニケーション部 保健文化賞担当

Eメール：hobun1950@daiichilife.com

- 応募締切：2025年4月15日（火）※当日消印有効
- 審査・発表：9月上旬

表彰等

- 受賞者全員（15組程度）に以下をそれぞれ贈呈します。
 - ・厚生労働大臣賞（表彰状）
 - ・第一生命賞（感謝状、賞金：団体200万円、個人100万円）
 - ・朝日新聞厚生文化事業団賞（記念品）
 - ・NHK厚生文化事業団賞（記念品）



1950年（第1回）贈呈式

募集要綱・応募用紙は第一生命オフィシャル
ホームページに掲載しています。



第一生命 保健文化賞

検索



<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>